

〔曲名〕 The Bartered Bride

歌劇「売られた花嫁」序曲

〔曲種〕

〔作曲者〕 Bedrich Smetana

ベドルジヒ スメタナ

〔編曲〕 中野二郎

Jiro Nakano

スメタナ（1824-1884）はチェコスロヴァキア国民音楽の創始者として、素材を郷土的な俗曲や舞曲を取り入れ、民族精神を高揚して地位を確立した人。

換言すればボヘミア音楽の民族的伝統を世界音楽の輝かしい水準に引き上げ、その民族精神と音楽技術の統一を最も天才的に達成した作曲家である。

売られた花嫁は民衆の愛好的的となって居り、国外において最も著名な歌劇曲目の一つに数えられている。

それにはサビナの写実的なテキストと相俟って人間生活の裸身の美しさが描かれて居り、

隅々に至るまで美しい、抒情に溢れ、又鋭い性格描写と火花のような諧調に満たされている。

この序曲は「花嫁を売る主題」を主な素材として組み立てられている。

精神的で且つ民族的香気強く、又音楽的に純粋な感銘の豊かな作品で、各パートとも技術面の克服がまず第一であろう。

マンドリン古典合奏曲集27集より